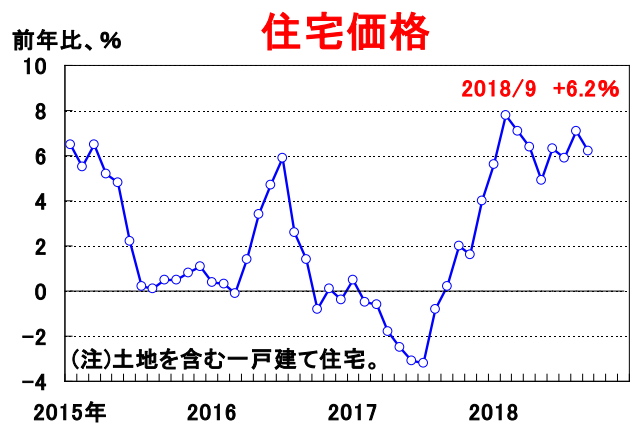
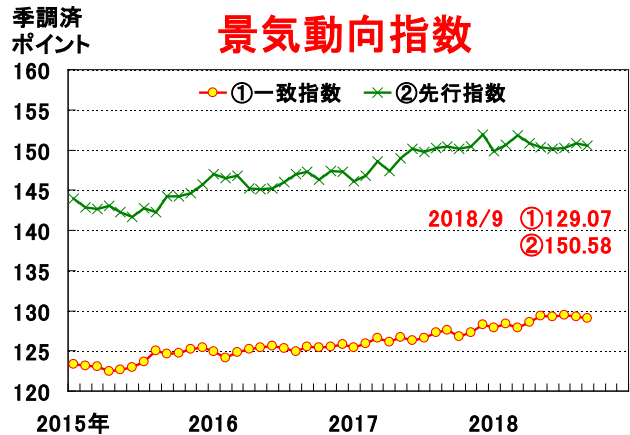
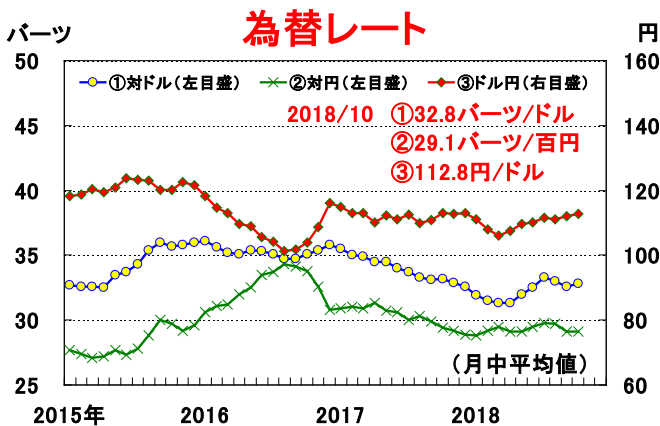
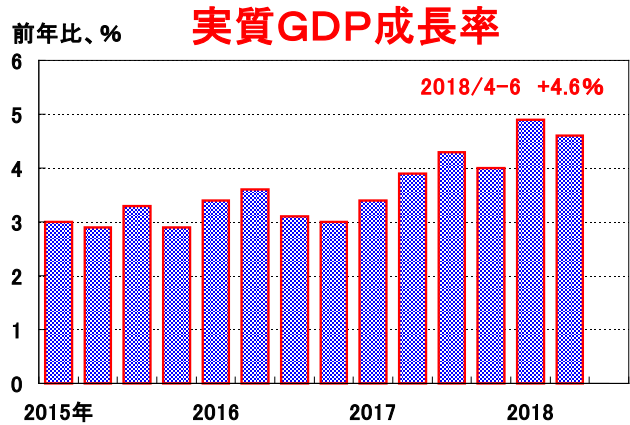
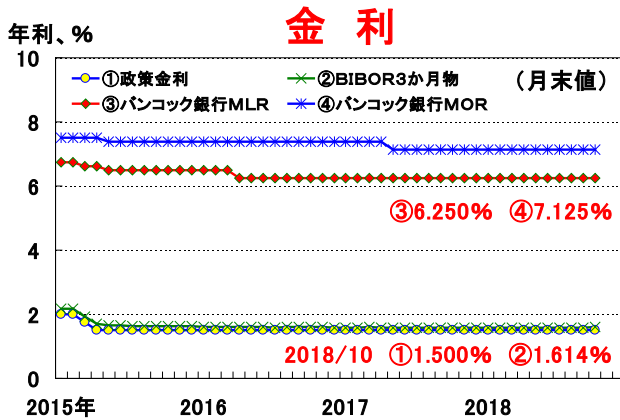


グラフで見るタイ経済 2018年11月号(No. 113)

タイ景気は減速している。企業部門をみると、9月の輸出は前年比-5.2%と中国向けの大幅な減少を受けて2017年2月以来の前年水準割れとなった。9月の工業生産指数(前月比-1.2%)は下落し、主力産業である自動車の生産台数も同月は前年比-3.7%と2017年6月以来の減産となった。10月の企業景況指数は49.6と中立水準の50を下回り、企業マインドも足元で悪化している。家計部門に関しても、9月の個人消費指数は前月比-0.2%と2018年3月以来の下落となった。外国人観光客の消費が回復したが、耐久財消費は減少した。



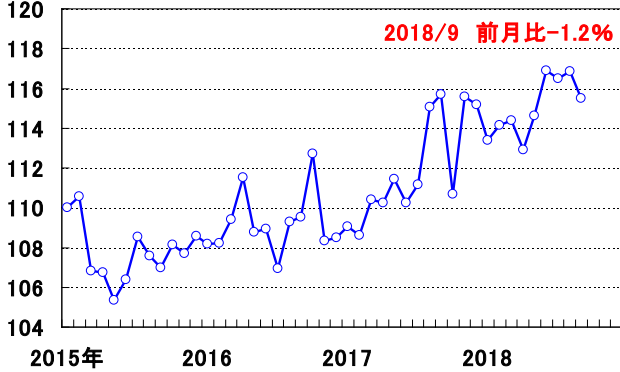
【今月のトピック:急増する廃プラスチックの輸入を禁止へ】タイ政府は10月に2021年までにプラスチックごみの輸入を禁止する計画を公表した。2017年末に中国が廃プラスチックの全面輸入禁止に踏み切り、その後、米国や日本などの廃プラスチックが中国の代替地として東南アジアに輸出されるようになった。大量の廃プラスチックの流入による環境問題に対処するため、東南アジア各国は相次いで輸入規制を導入している。5月にはベトナムとマレーシアが輸入制限を開始した。今後はタイ政府も、自国のリサイクル産業に配慮しつつ、輸入規制を強化するとみられる。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

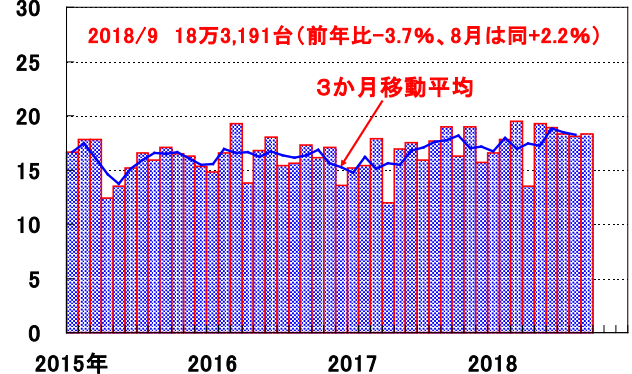
季調済
2011年=100

工業生産指数

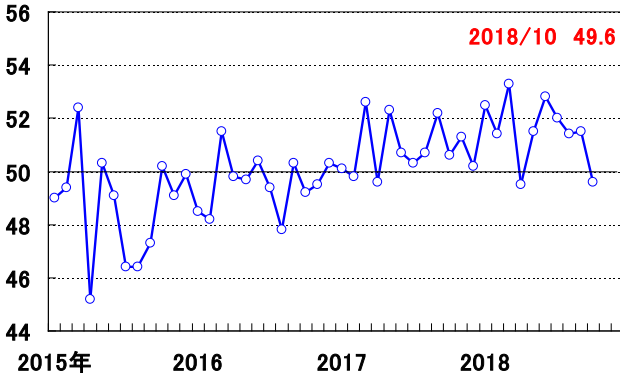


万台

自動車生産台数

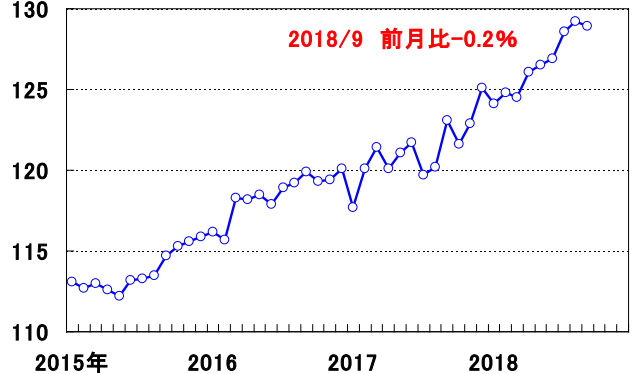


中立水準=50 企業景況指数(BSI)



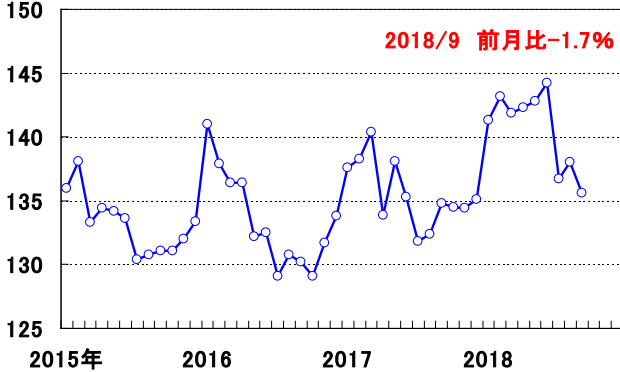
季調済
2000年=100

個人消費指数



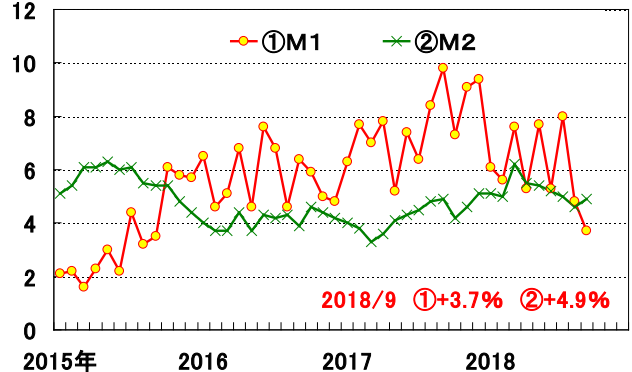
季調済
2010年=100

民間投資指数



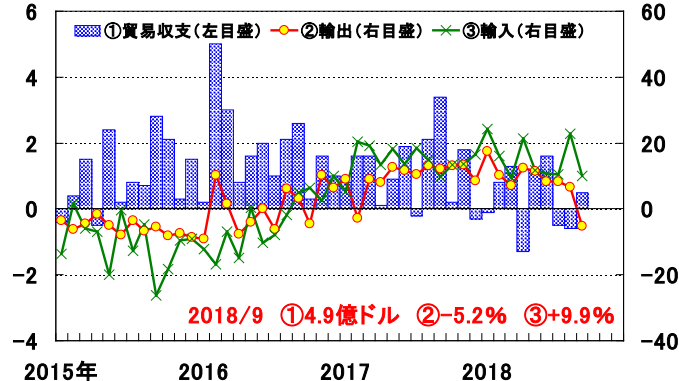
前年比、%

マネーサプライ



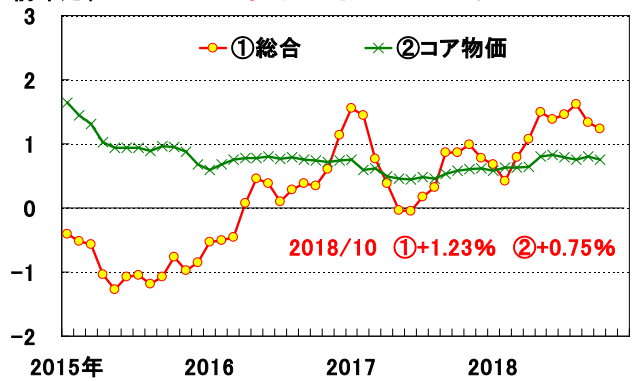
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。